Redacção e Administração
R' Assembléa, 16 - Tel. 2-5651 - Caixa, 2765

NOTICIAS de S. PAULO
Directo Dario P. Almeida Proprietario Rocro Kowyama

S. Paulo, 22 de Setembro de 1936 - N°1.142
Publicação Tri-semanal

sr. M. Kobayashi
小林 美登利殿
r. Galvão Bueno, 407

聖市アセンプレア街十六番地
聖市郵便局私書箱二五五
發行所 聖州新報社
發行人 菅山大郎
廣告料 一年三〇ミル
購讀料 一箱三〇ミル

清酒 東麒麟
TOGO & CIA
Caixa 528 - S.PAULO

排日事件全支に繼續發

豊台の支那第二十九軍 突然日本軍を射擊す

我方直ちに反擊・相當損害を加ふ

（北平十八日）けふ北支駐屯日本軍の一隊、北平南廿五キロの豊台市中を行進中、同市駐屯支那兵から無法にも突如發砲されたので直ちに支那軍兵營の包圍攻擊に轉じ、機關銃隊、砲兵隊の增援を得て相當の損害を加へるに至つた、勝算なしと悟つた支那側は休戰を請ふに至つたので一先づ衝突は中止されたが事態の推移豫斷を許さず依然兩軍對峙して緊張してゐる

（東京十九日）陸軍省發表によれば昨日突發した豊台衝突事件の應急策として北平駐屯軍の一部を急ぎ豊台に增派したが衝突を惹起した支那軍兵の除隊を要求することになる模樣である

（北平十九日）ロイテル通信によれば昨日の豊台衝突事件後仕末のため多數の日支官憲が豊台に急行したが日本側は豊台の開け渡しを要求したと

（北平十九日）ロイテル通信の報ずる所によれば豊台駐屯支那兵は十一時から兵營を出て撤退を開始した、豊台の治安には日本軍が任じてゐる

尙支那軍司令官は同時に漢口に於ける日本人警官殺害事件についても謝罪したと

（倫敦十九日）ロイテル北平通信員の電報する所によれば豊台駐屯支那軍の完全な撤退により豊台衝突事件は無事解決するに至つた

一旦撤退を約し 更に兵を集結

言語に絶す支那側の暴狀

（東京十九日）豊台に於ける日支軍の紛爭に關してけふ早曉外務省に公電が到着したので外務省では午前幹部會を開き陸軍當局と連絡を取り對策につき愼重協議を遂げ、豊台にある第二十九軍の第三十七師は渤治安の麾下に屬する札付きの排日部隊であつて最近日本側との間に頻々として問題を惹起してゐるので去る十三日、日支兩當局間の協議に依り五十日以内に豊台を撤退し省内の某地點に移駐することに決定してゐたものであるが今回の問題發生の結果、帝國政府としては到師の移駐期限を更に繰上げ移駐地も遠隔の地に變更し日支間の問題發生の根本的に防止するの措置に出るものと信ぜられる

（豊台十九日）豊台事件は支那軍參部隊明廿日夕刻までに北平郊外西苑に撤退することに決定し十九日午前九時円滿解決した

（東京ラヂオ廿一日）北平發昨日午後豊台を撤退する筈の第廿九軍は今も尙キタウ村に頑張つて居り、何等協定通り實行の形跡なき爲我が官憲は憤激して協議中である

（東京ラヂオ廿一日）第廿九軍の豊台撤退につき其の後の詳報に依れば支那側は單に豊台より兵を撤退せし如く見せかけ全地より僅か六百米の地帶に兵を集結してゐるが斯の如き子供ダマシの誠意なき態度は我方の憤激を買つてゐる

（上海十九日）北平より漢口に向ふ汽車の中で滿洲軍所屬某大佐（朝鮮人）は支那匪賊の一團から襲撃されたが危く九死に一生を得て脫走したと

日本、自主的權力を發動

在支帝國人民を保護か

漢口に我陸戰隊上陸

（東京ラヂオ十九日）三浦漢口總領事は吉岡巡査射殺事件に就き杉野第一戰隊司令官及陸軍出先官憲と協議の後、強硬なる抗議を發した

日本料理店へ 爆彈を投ぐ

（東京ラヂオ十八日）昨日午後汕頭の某日本料理店に爆彈を投げ込み行方を暗ましたが、幸にして爆彈は不發に終り、大事に到らずして終つたが、時節柄大いに注目されて居る

吉岡事件

（漢口十九日）既報去る十九日午前十一時部布告を發して民衆の排日禁壓を各方面に嚴達した直後、五十分漢口日本租界大正街白晝租界に於て公務執行中の日本官憲が兇漢の銃彈に倒れたと云ふことは民衆の取締に折から警備中の吉岡巡査が支那人の發砲にて後頭部を狙撃され即死したる事件に關し、我出先陸海外三省當局は愈々排日暴狀に極度に痛憤緊張し對策協議中である

（東京十九日）漢口總領事館巡査射殺事件に關しては十九日午後外務省にも公電があつたが南京政府が成都事件、北海事件の責任を追及されまきれに九・一八記念日に對し相判明をまつて、今回の不祥事件の責任を斷乎南京政府に追及する決意を固めてゐる

（東京ラヂオ十九日）漢口發同盟電、杉野第十一戰隊司令官は吉岡巡査射殺事件起るや直ちに陸戰隊を上陸せしめ在留邦人の保護に萬遺漏なき手配を爲した

（東京ラヂオ十九日）上海發同盟、漢口事件發生を知つた及川第三艦隊司令長官は直ちに首腦部を集めて打ち募る支那側の排日運動を根絶せしめべく對策を協議した

（東京ラヂオ廿日）漢口發同盟電、吉岡事件發生以來我陸海軍陸戰隊は極度に緊張し我が官憲と共に排日暴壓を極めてゐる

成都事件の突發以來未だ一ケ月を出ざるに惡辣なる排日

兇行は全支各地に續發した南京政府はその都度口には遺憾の意を表し、排日取締を布告する事を以て行事としながら何等排日緊壓に對する誠意を示してゐない、既に事態は我方として自主的權力に依つて在支帝國人民を保護せざるを得ないといふ程度まで進展し海軍陸戰隊は極度に緊張し我が官憲と共に排日運動を根絶せしめべく對策を協議した

（東京ラヂオ廿日）漢口發同盟電、吉岡事件發生以來我陸海軍陸戰隊は極度に緊張し我が官憲と共に排日運動を根絶せしめべく對策を協議した

（東京ラヂオ十九日）漢口發同盟電、漢口事件發生を知つた及川第三艦隊司令長官は直ちに首腦部を集めて打ち募る支那側の排日運動を根絶せしめべく對策を協議した

（東京ラヂオ廿日）漢口發同盟電、吉岡事件發生以來我陸海軍陸戰隊は極度に緊張し我が官憲と共に排日運動を根絶せしめべく對策を協議した

匪賊に襲はる

（東京十九日）第廿九軍の豊台撤退につき其の後の詳報に依れば支那側は單に豊台より兵を撤退せし如く見せかけ全地より僅か六百米の地帶に兵を集結してゐるが斯の如き子供ダマシの誠意なき態度は我方の憤激を買つてゐる

日本料理店へ 爆彈を投ぐ

（東京ラヂオ十八日）三浦漢口總領事は吉岡巡査射殺事件に就き杉野第一戰隊司令官及陸軍出先官憲と協議の後、強硬なる抗議を發した

日滿合辦の生命保險會社

（東京十八日）日滿合辦の生命保險會社は資本金三百万円を以て設立されることになつたが生命保險協會では十八日各社代表總會を開き引受株の割當に關し協議の結果、日本側持株三万株の內二万三千株を五大生命で引受け殘り七千株を二十六生命保險會社に割當てることに決定、來る廿四日新京で開催した怪支那人があつたが、幸にして爆彈は役立たず、大原登男氏を派遣することに決定した

エチオピヤ代表の出席を拒絕か

◇……聯盟理事會開く

（壽府十八日）國際聯盟第九十三回理事會が今朝開會され早速エチオピヤ國代表の出席を許可するか否かが問題になつたが諸重要國代表中著者多く未決定に終つた

尙デルボス佛代表は到着直後チエコスロバキヤ代表と何事か會談する所あつた、露國代表として乘込んだ現駐西國ローゼンベルク氏は西國（即ちマドリード政府）代表と同宿の親密ぶりを見せ注目されてゐる

（壽府十七日）國際聯盟理事會は明日いよいよ開會されるがそれには伊國代表は缺席することになつた模樣である、又聯盟の來週の會議に出席するかどうかは未決定のものゝ如く鍵はエチオピヤ代表の出席如何にかゝつてゐるものと見られてゐる、一般にエチオピヤ代表の出席確は結局否定される方らと豫測されてゐる影響はないと觀てゐる、聯盟ではエチオピヤ西部ゴーレ駐在の英國領事から來る筈の報告を待つて最後の決定をなすべく待機の姿勢を持してゐる

（倫敦十七日）目下當地に亡命中のエチオピヤ皇帝ハイレセラシエ陛下はヘーグ仲裁判所に對し臨時に開會し至急エチオピヤ問題を評議せられたしとの要請電報を發せられ、その回答は興味を以て待たれてゐる

正金銀行の大連商票

發行禁止となる

（東京十八日）懸案となつて居た關東州內における正金銀行券謂ゆる大連商標は十八日の閣議で發行禁止となつたが缺如何にかゝつてゐるものゝ如く商標同收後の滿洲特產物右に關し正金銀行當局は左の如く發表してゐる

「一般にエチオピヤ代表の出席確は結局否定の影響はないと觀てゐる、聯盟の制限乃至國際處理を提唱する方針と云はれるが聯盟外の他一般情報に關する事務の行はしむることゝし十五日有日米獨三國が參加しない限り軍備制限の目的を達することは困難であるとの見方が有力である

禁止は國策とあれば止むを得ない、正金銀行券は特產出廻期に於て三百萬円、端境期に於て百五十萬円乃至百万円程度の流通高にすぎないから之を禁止しても何等經濟界に對する影響はないであらう、殊に今後は滿洲特產取引きの円滑に關してはかねてから研究されゐることであるからこれとても取引の惡影響はないと思ふ

（東京十八日）大連に於て正金銀行券をもつて行はれてゐる特產取引は通貨統制上國幣に變更することとなり大藏省では來る廿日勅令に依り橫濱閣議に附議左の如く正式決定する筈である

「正金銀行の大連支店の新券發行を禁止することとなつた、現在全券の滿洲における流通額は二百三十万円であるが商票は特產取引の一部にのみ使用され而も强制通用力を有せず相場が國幣との間を維持してゐるので幣制統一上十月の特產出廻期直前に發行を禁ずることとなつた、この結果商票の流通は北支のみに限られる」

この儘放置すれば 第二の世界大戰

一般軍縮會議復活を

佛代表提言せん

（パリ十七日）佛デルボス外相、パスチード商相は專門委員を帶同十七日ジユネーブに向つたが今回の聯盟理事會に於て一般國際軍縮會議の復活を提言すると觀られる、更に獨逸政府の再軍備以來國際情勢が惡化の一路をたどり現狀を放置すれば第二次大戰を誘發する懸念濃厚なり、佛代表はこの危機を避けるため軍備の制限乃至國際處理を提唱する方針と云はれるが聯盟外の日米獨三國が參加しない限り軍備制限の目的を達することは困難であるとの見方が有力である

（パリ十七日）佛デルボス外相は米國のエ立場から一般國際軍縮會議の復活を提言する意向と確聞する

陸軍の新聞班 陣容を整備

（東京十五日）陸軍省では時局に鑑み新聞班の陣容を整備するに決し十五日參謀本部から員吉中、土居兩中佐、河原少佐の三將校をして地方講演その他一般情報に關する事務を行はしむることゝし十五日有三將校に對し軍務局兼勤を命じた

日滿合辦の生命保險會社

（東京十八日）日滿合辦の生命保險會社は資本金三百万円を以て設立されることになつたが生命保險協會では十八日各社代表總會を開き引受株の割當に關し協議の結果、日本側持株三万株の內二万三千株を五大生命で引受け殘り七千株を二十六生命保險會社に割當てることに決定、來る廿四日新京で開催した怪支那人があつたが、幸にして爆彈は役立たず、大原登男氏を派遣することに決定した

拓務省異動

殖產局長北島謙次郎氏 南洋廳長官に

（東京十七日）政府はかねて辭表提出中の林南洋長官の後任として拓務省殖產局長北島謙次郎氏を起用することに決定した、また殖產局長後任は管理局長荻原彦三氏が昇格することとなり、十八日の定例閣議に附議左の如く正式決定することとなつた、尙管理局長の後任は今後の人事異動により決定の筈

殖產局長　北島謙次郎
任南洋廳長官　荻原　彦三
管理局長
任殖產局長
拓務次官　入江　海平
拓務省管理局長事務取扱仰付けらる
南洋廳長官　林　壽夫
依願免官

★十七日

▲滿洲で日本語放送

滿洲放送協會では今年二月より五月迄日本語放送を繼續し片假名テキストを配付して聽講者の便に資する等非常な日滿親善ぶりを見せてゐたが滿洲最大の新聞ヘラルド紙は之に對し社說を掲げ日滿親善强調しこの放送局の試みを讚讃し更に「將來の日本大使は此のテキストを勉强した人その中より出現するだらう」と激賞した

▲中川前台灣總督

前台灣總督中川健藏氏は午前十時宮中に參內、種々優渥なる御言葉を賜はつて退出した

▲南洋協會

南洋協會では今日、小林中川の新舊台灣總督を午餐會に招待して歡談した

▲政府買上米賣却

農林省では第二次政府買上米賣却を發表した

豫定賣却數量　約五十萬石
申込期日　九月二十四日
保證金受付　仝二十五日

▲石射公使赴任

新任シヤム公使石射猪五郎氏は午后神戸出帆の郵船白山丸で赴任した

★十八日

▲榮ある天皇族手

近く北海道に擧行される陸軍特別大演習に御統監遊ばされる大元帥陛下に供奉して榮ある天皇族を捧持の光榮に浴する皇族は近衛騎兵聯隊で嚴重な警備の結果

騎兵曹長　宮城縣出身　三上龍之助
騎兵曹長　宮城縣出身　宏戸雄三郎

の二氏と決定した、兩氏とも將來有望なる下士官である

▲加々美前大阪市長

前大阪市長加々美武夫氏はかねて病氣療養中であつたが今曉輜車り發に逝去した

氏は山梨縣の出身、東京高商より東大を經て內務省に入り關一氏に拔かれて助役となり昭和十年二市長に昇任、本年七月病氣で退職療養中であつた

▲佛北極探險隊遭難か

佛國西北極探險隊ミ博士以下五十四名は去る十五日北氷洋に襲來した颶風の爲總員溺死した模樣と傳へられてゐる

▲鐵道局と秋のプラン

殘暑も去り初秋快適のシーズン到來に勇み立つた東京鐵道局では初秋プランの實施に取かかる筈で八ケ嶽高原箱根方面その他へも臨時列車劇引列車を仕立て拔目なくハイキング實傳に力瘤を入れて居る

祖人上塚霧讃辭
灸法の神様
顧問灸法學の泰斗醫學博士
鍼灸道の司家
宮內省典藥寮典藥頭式部卿
白川法眼公傳法第五十一世
姪命山 家傳秘法 鍼灸治 本院
マリリア分院 小林裏
灸鍼灸醫學學士勳七等
院長 鍼灸醫 磯谷救翁
聖市中國旅館氣付

珍らしい
マッチ・レッテル
豊吉商店
聖市 郵函二三

ドツクス
寫眞館
兒島末雄
ラルゴ・テゾロ廿一の三階
電話二一七五八七

ストスバ
中央旅館
館主 榎常孝

親切、叮嚀、顧客本位
惠比須旅館
吉村國惠
アラサツーバ市 郵函二〇八
電話 二四

別嬪揃ひで……
良い料理……
料亭 富田家
聖市コンセレイロフルタード街一三五
電話 二一六七六七

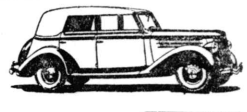
●御泊りと御食事は……
是非親切、叮嚀の……
下田旅館
並建築請負業 下田福松
ヴエラクルース町

第一トーキー班 パウリスタ線 平田公泰
第二映寫班 パウリスタ線 五十嵐天堂
第三映寫班 パウリスタ線 松井春波
第四映寫班 ノロエステ線 三月京二
第五映寫班 ソロカバナ線 堀口美郎
松竹、日活、新興、映畫輸入元
日伯シネマ社
聖市 郵函 三八二七
電話 二一三六五七
外國電略 NIPCINE

Banco Especie de Yokohama Ltda.
[The Yokohama Specie Bank Ltda.
Caixa, 380 — Rio de Janeiro
▲郷里送金
新令に基き御申込順に從ひ申請の上許可を得て取扱可申、許可遲延の節は暫らく御猶豫御願可申哉も不計候
送金は一切無手數料にて御指圖通り取計可申上候
▲日本貨預金
當行內地各店の定期預金又は特別當座預金として送金方前項に準じ取扱可申候
定期預金利息は現在年三分三厘の割、當行各店發行円貨、其他の預金証書、特別當座預金等は期日後行最好相場にて買取伯貨御支拂可申上候
▲伯貨預金
定期預金　六ケ月以上利率當分三分五厘の割、外に當座預金特別當座預金等御便宜御取扱可申上候
一九三五年五月
横濱正金銀行
リオ・デ・ジヤネイロ支店

大阪商船
發着廣告
南アフリカ經由
日本へ
あふりか丸　リオ發　十月七日
北米經由
りお丸　サントス發　九月十七日
日本より
ケープ・タウンより
あふりか丸　神戸發　七月廿五日　サントス着　九月廿日
もんてびでお丸　神戸發　八月六日　サントス着　九月廿日
詳細は代理店記
聖市
サントス　BOULDER BROS & CO. LTD. (BRASIL) RUA DO COMMERCIO, 35
リオ　THEODOR WILLE & CO. LTD. LARGO DO OUVIDOR, 2
WILSON SONS & CO. LTD. AV. RIO BRANCO, 37
右代理店の外御師國手續の御世話乘船切符購入等は指定仲次旅館が無料御取扱致します
大阪商船株式會社
Caixa, 388—SANTOS

診察時間 自午前八時 至午後九時
齒科岡山
聖市コンデ・ド・ビニヤール街一三五
電話 二一六〇三七


体裁優美
優格低廉
耐久堅牢
速力の点に申分のない
新古兩車共澤山あります。月賦拂特に好條件にて御便宜を計ります
フォード代理店
飯田商店
プロミソン驛 郵函三五
AGENCIA Ford

リオ通信

反政府黨首領はルザルド氏に決定

十八日開催された下院反政府黨總會の席上南大河フレンテ派の有力政治家で同州解放黨首領パッチスタ・ルサルド氏が選任された、仝氏は臨時政府の警視總監時代當時の勞相であつたヲンドルフオ・コロール氏及ジョン・ネーヴエス氏と共にゼツリオ獨裁政府を捨てて野に下り現南大河フレンテ派結成に力を盡した人である

因に前反政府黨首領ジョン・ネーヴエス氏は八ケ條提案實現のためゼ大統領を通じて少數黨と多數黨との連絡に努力するはずである

戦時狀態令九十日延長

十八日下院最終讀會を通過した戰時狀態令九十日延期案は仝日の上院夜間會議に於て可決、即夜下院議長より之を公布した、延長期間は廿日以降九十日間であるから十二月十八日に滿了するわけである

聖州と後繼大統領問題

聖州政府與黨の一領袖はポルト・アレーグレ市發行のコレイオ・ド・ポーヴオ紙聖市通信員に對し次の如き時局談を試みたと

ゼツリオ大統領の任期延長說が傳はつてゐるがサンパウロも之には贊成だ、無用の政爭を避け得るからだ

サレス州統領が立候補すると言ふ說を爲すものがあるがこれは全く根底のないものである

ゼツリオ大統領は目下諸種の廣汎な行政方針を立てゐるので、この際州政府を捨てる事には側近者が反對するに違ひない

サンパウロにはサンパウロ自身繁榮のため努力したいので、それがまた國家强盛のためともなるのだ、この意味から言つてもゼ大統領の任期延長にはサンパウロは贊成だ

輸出の最盛期に入超八十四万圓

伯棉の大量購入が一原因

前途樂觀を許さず

九月中旬貿易異變

（東京ラヂオ十九日）大藏省發表九月中旬內外地合算對外貿易は

輸出七千九十三万一千円
輸入七千百七十七萬一千円
輸出入合計一億四千二百七十万二千円

差引入超八十四万円

一月以降入超累計二億四千五百七十万二千円で之を前年同期に比較すれば輸出に於て三百十九万円の減少、輸入に於て八百八十七万円の增大を示し、輸出入合計に於て五百六十八万円の增大を示して居る

かく中旬貿易が輸出最盛期なるにも拘らず遂に八十四万円の入超を見るに到つた事は輸出に於ける重要商品たる生糸雜品の著減と輸入に於る棉花輸入殊に、ブラジル棉の入荷多かりしに所以するものと觀られる、斯る貿易尻の逆轉は實に昭和六年九月以來の珍現象とされて居る、要之、輸出最盛期に於る斯る貿易尻の逆轉は唯單に棉花輸入の著大のみを云々するべきでなく前途は甚樂觀を許さない

（東京十九日）中旬貿易は輸出最盛期にありながら八十四表九月中旬內外地合計六百万円の入超を示してゐる、此奇現象は輸出が減じたのに對し一方棉花の輸入貯藏加增したに結果に依る、かゝる現象は去る昭和六年九月中旬以來の事であり、爾來毎年今期は一千万圓台の出超をつゞけて來てゐる点と照合し逆轉の現象と解せざるを得ない

本旬の棉花輸入は從來に比し約二倍の四十六萬八千ピクスロの巨額に達したが當業者は輸入終了期を控へ伯棉の單なる貯藏による一時的の現象であると解してゐるが何れにしても輸出最盛期に於ける入超現象は喜ぶべきことではない、而も重要商品別內譯を見るに前旬に比し輸入が內地合計六百二十万円を增加せるに反し輸出が前旬に比し小麥粉の微增を除き殆んど一樣に滯滯し雜品の輸出減を加算し內地合計一千五百十三万八千円の減少を示してゐる事實に徴しても單なる棉花輸入增加による一時的現象として樂觀し得ざるものがあり前途は容易に樂觀を許さざる狀勢にある

獨逸の攻撃に露國應ぜず

"露政府は殆んどユダヤ人"

そのの理由

（伯林十八日）過般ニユルンベルグで旬日に亘り開會され世界の耳目に新興獨逸の熱と力を遺憾なく發表したナチス黨大會は昨日ユダヤ共產主義への挑戰演說に終始したものであつたから、これが露國政府に如何なる反響を呼ぶかは當の獨逸は言ふに及ばず全世界が興味を以て注視しつゝある所であるが某獨逸紙はこの問題について露國當局に一擊を次の如く毒づいてゐる

ヒトラー總統やグツベルス宣傳相の肺腑をエグル打倒ユダヤ共產主義演說に對露國諸紙はそれらの演說內容は唯一言さへも發表せず徒らに空虛な罵言をのみ連發してゐる、例へば露プラウダ紙を見よ、同紙は「露國に敵意をもつ連中の代辯者として獨逸ナチスはニユルンベルグ大會で大見得を切つたが、反露演說の內容は一寸想像すれば直ぐ分る徒らな陳腐な罵倒と虛言の長廣舌に過ぎず今更取立てゝ貴重な紙面を埋める必要もあるまい」などとネヴクの「獨逸の挑戰に正面から反擊するを避けて」るがその理由は簡單明瞭である獨逸の理路整然たる攻擊論に駁する言葉もないからである、特に注目に値するのは露國諸紙がユダヤ民族の語を馬耳東風と聞き流した風を裝ひ默殺せんとしてゐることだ、その理由も直ちに看破出來る、スラブ族に露現政府のユダヤ化を悟られてはならぬからだ、そして同時にこの默殺は露政府並びに言論機關のユダヤ化過程の現實を物語るものとして注目に値する

"東京大會"には露國も參加を希望

獨逸からは五百人の選手團

（東京十七日）倫敦發、國際オリンピック委員副島伯は伯林大會終了後モスコー、ヘーグ等歐洲各地を訪問

モスコーではリトビノフ外務人民委員、ヘーグでは蘭外相デグラエフ等と會見を遂げた後十六日ヘーグから倫敦に到着した上、十七日倫敦出發カナダに於てキング首相と會談歸國する豫定であるが十六日午后オリンピック大會その他について語るソヴイエットでは外務委員の他と會見したがリトノフ氏は伯林大會に於ける日本軍の活躍より特にスポーツマンシップを感心してゐた、ソヴイエットスポーツ界は一九四〇年東京大會には是非參加したい意向で何とかして斡旋して欲しいとの事だつたが、大會に參加するには主催國の意向だけではなく國際オリンピック委員會の決定が必要なことを話して置いた、何わにせよソヴイエット政府がスポーツを通じて日蘇兩國の關係を改善したい樣子がはつきり見られた東京大會にはヒトラー總統も五百名の選手團を派遣する樣云つてゐるがイタリヤも尠くも五百名の選手を送る樣ヅツリーニ首相に御願ひして置いた、歐洲各國を巡歷してロサンゼルス兩大會へ通じ日本スポーツ界が祖國に非常な貢獻してゐることを感じた

最後に日英同盟論について曰く

最近日英同盟復活論が大分出てゐる樣子だが同盟の復活などといふことは白日の夢で政治的同盟の時代は既に過ぎ去つた、日本政府としては英米獨各國との緊密な提携を計るのが最善の外交策だ

五ケ年計畫のシムプリシオ案に聖州眞先きに反對

過日下院議會へ提出されたジヨン、シムプリシオ代議士の五ケ年計畫の財政改善の諸法案に對し聖州田園協會は一電報を仝代議士に發し

經濟界の不況を救濟せんとする五ケ年計畫諸案が爲替投收にその財源を求めんとせる點に反對し現在の不況が農產物に對する政府の重稅課賦に來るものなる事を說きその反省を促した

八ケ條提案調整されむ

反政府黨新首領パツチスタ・ルサルド氏は首領就任後次の如きインターヴユーを與へた

八ケ條提案の成立で愈々後繼大統領を選擇する時期が來るとは思ふが仝提案は猶相當に手加減をする必要がある、委員會は多分來月初旬中には出來ると思ふが、大統領候補者の選擇を見るのは多分一月三日以後になると思ふ、しかして候補者の公認會議は一月中に召集される事となるならば

副島伯談

帝國在鄕軍人會

民間團體の殼を脫ぐ

陸海軍大臣の統制下に

（東京十八日）現在の帝國在鄕軍人會は創立以來廿六年の歷史を有し今一万五千の聯合分會と三百萬の會員を有する大團體であるが之を民間の任意團體として置いては時代の進展に適應しないので今回勅令を以て帝國在鄕軍人會令を制定仝布し之を公式化して陸海軍大臣の下に統制、强化を計り地位を向上せしむることになつて十七日の閣議で右勅令を正式決定した、即ち現在の帝國在鄕軍人會は民間の組織であつて何等公式のものではないがその仕事は可成り公の性質を帶びて有意義と時代の趨改がある

▲平生女相は伯國來訪後文組に沿はしむるの必要を認め陸海軍大臣協議の上之が勅令制定の件を本日閣議に上提した次第である

關門トンネル……工事開始

（東京十九日）門司發、本土九州を鐵路に結ぶ關門海底トンネル工事起工式は十九日午前十時より門司市で鐵相代理田子鐵道破務次官、畠山福岡戶塚山口兩縣知事、釘宮下關改良事務所長以下關係者を始め名士三百余名連席の下に嚴肅に擧行され、工事の指揮官釘宮所長の處女鍬一閃の下に海峽トンネル世界的難工の幕は切つて落された、かくて世界學界の注視と全國民待望の內に愈々門司側からその一歩を踏み出した

（東京ラヂオ十九日）世界に誇るべき大工事關門隧道工事は全長六千三百三十五米、その中三分ノ一が海底トンネルとなるもので門司近くの小堀江海岸より井戸堀作業に似たやうな形式で今日から工事開始となつたが或る個所は一米の堀鑿に七千円も費用を要すると云はれて居る

貯油問題全く解決

愈々義務貯油履行

（東京十九日）懸案の石油會社義務貯藏案に關しスタング、ライジング、サン兩社代表及三井物產の三者は仝日午商工省に吉野次官を訪問石油業法施行につき根本的疑義をただすところあつたが、この結果三井物產を代行機關として義務貯油を履行するに至るものと見られ貯油問題も愈々解決の運びとなつた

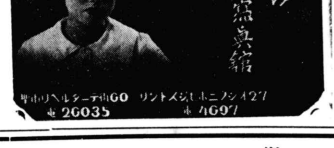
▲第十九路軍も北海を撤退した。第二十九軍も豐台を撤退

▲日清戰役當時支那軍の退却振の勇ましかつたで日本では「支那は藝妓で彈くばかり」など唄つたものだが、それから四十餘年昨今の支那は相變らず斯感ありである

▲中南支の英國權益を擁護するため英國に日英同盟の復活が蒸返されて居る。此復活に日本が二の足を踏む處に歷史の有意義と時代の趨改がある

▲朝市には赤い玉葱が盛り出された。北島新南洋廳長官も伯國緣故の人物である。高砂國籍者として獨逸ナチスはニユルンベルグ大會で大見得を切つたが、反露演說の內容は一寸想像すれば直ぐ分る徒らな陳腐な罵倒と虛言の長廣舌に過ぎず今更取立てゝ貴重な紙面を埋める必要もあるまい」などとネヴクのみで獨逸の挑戰に正面から反擊するを避けて居るがその理由は簡單明瞭である獨逸の理路整然たる攻擊論に駁する言葉もないからである、特に注目に値するのは露國諸紙がユダヤ民族の語を馬耳東風と聞き流した風を裝ひ默殺せんとしてゐることだ、その理由も直ちに看破出來る、スラブ族

白米と雜穀
カ、ジョージマ
城島商會
養鷄飼料各種
カ、ジョージマ
城島商會
聖市アニアンガバウー街(九)



Hotel Sato
日本ホテル
佐藤常喜
ペンナボイス驛
電話一三郵函一〇一

呼寄
御問合セハ郵券封入ノコト
法律
保險事務・スールアメリカ抽籤付貯蓄債券取扱
一九二九年創設
牧法律事務所
牧義朝
聖市
(郵函一七三番)
(電話二一一三番)
(自宅)八一二〇七番
Praça da Sé No34 6ºAndar Sala,608 S. Paulo

マリヽア土地
舊稱リベイロン・ド・フオルミゲイロの地がリベイロン・ダ・ボンバの僞名を以て賣却された事實が來る九月乃至十月中に行はるゝ判決により決定される筈なり
同地地權回收を十一年間運動し來りしジユリオ・デ・バーロス氏は同地全不當入植者に對し今年末迄猶豫を與ふるものなり

カナカオ肥料は左記でお求め下さい
カナカオ化學工業事務所
プタンタン街二
電話八一二五八七
市內事務所サンベント街三六二階十八・十九號室
電話二一五六〇七
中央支店
(メルカード廣)
イタブーラデミランダ街一七電話二一六六三七
バウル支店
ジョンペツソア街二ノ一二
野上商店
リベロン・ピーレス市
吉原商店
スザーノ市
鎌田商店
タクアリチンガ市
叶野商店
ピンダモニアンガーバ市
高橋商店
アラサツーバ市
今川商店
パラグワス市

ほねつぎ
柔道整復術
マリリア講武館主
柔道師範
芳田善作
マリリア市四月四日街五〇番郵函百拾貳番

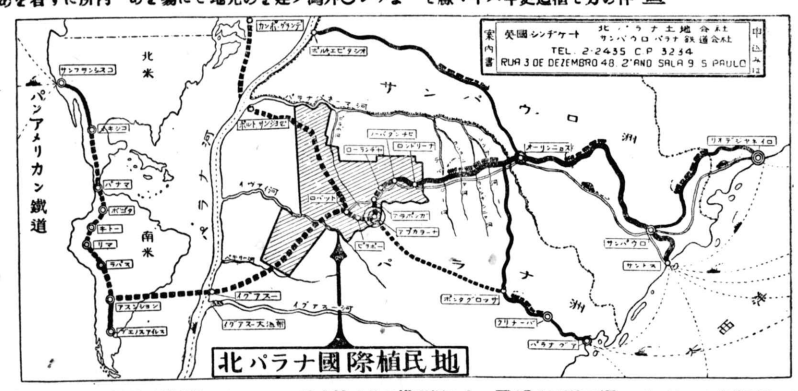
結婚祭典用
鮮魚販賣
高橋利右エ門
右館內

國際植民地帶
四方への鐵道分岐點
五十五万大植民地の
中心地帶賣出

CIA. DE TERRAS NORTE DO PARANÁ
Rua 3 de Dezembro, 48 - 2º. andar — Telephone 2-2435 - Caixa Postal, 2771 - S. Paulo

英國シンヂケートの鐵道建設並に計畫

本社は時勢に伴ひ植民地開發に力を加へ今後一層の力を植民地の完成に延長して第三驛より第五驛に延長し第五驛より八十五驛に至る鐵道は本年更に奥地に向つて延長する筈である



（地名の◎印が第五驛アブカラーナ市街地）
（……は延長豫定線）

北パラナ國際植民地
土地分譲
▲春は新綠の北パラナ高原から
▲風光氣候絕佳南米のカリフオルニアと謳はる處
▲眞に南國の樂園住み良い處
▲貴家永遠の繁榮地子孫安住の土地

市都心の北パラナ
第五驛アブカラーナ市街地賣出開始

注意
第五驛アブカラーナ市街區は既に同胞中數百の希望者がありましたが別に一々御知らせ致しませんから此の際直接現地に來て御購求下さい

北パラナ土地會社
日本人部總代理人
氏原彥馬
サンパウロ事務所 郵函三二三四
ロンドリーナ事務所
ローランヂヤ出張事務所 郵函一五
Est. Londrina - C.F.-S.P.P.
北パラナ土地會社

經濟使節の光榮

來る二十三日謁見を給ふ

國經濟使節サルガード・フイーリヨ氏以下五名に對し來る廿六日午前宮中鳳凰の間に於て謁見を仰せ付けられる旨本日仰せ出された

伯國經濟使節一行 大歡迎裡に入京

波正場に描く日伯親善風景

（東京ラヂオ十八日）畏き邊に於せられては、訪日伯國經濟使節サルガード・フイーリヨ氏以下五名に對し來る廿六日午前宮中鳳凰の間に於て謁見を仰せ付けられる旨本日仰せ出された

（東京ラヂオ十九日）日伯國交上の歴史的使命を帶びて訪日の途上にあつた伯國經濟使節團々長サルガード・フイーリヨ氏以下の一行廿九名は五十八日間の航海も悉く終へ今十九日午前横濱入港の乘船プエノス・アイレス丸で來朝、接待委員内山前駐伯參事官その他の先導にて岸壁上陸、其処に待受けてゐた接待委員長堀内外務次官、前伯國使節團長平生文相その他大勢に迎へられ、湧き返る萬歲裡に特別列車で東京へ出發し

入京

第一歩の交歡

商工會議所訪問

横濱より特別列車で東京驛着の伯國訪日經濟使節一行は帝國ホテルへの途次馬場先門の商工會議所に訪問、郷會頭、中野副會頭と挨拶を交し、入朝第一歩の交歡を終つて帝國ホテルに落付いた、次で午後三時有田外相をはじめ各相を訪問、入朝の挨拶を述べ、午後六時駐日伯國大使主催の晩餐會に臨んだ

首相訪問

團長以下五名訪日の挨拶

（東京ラヂオ十九日）既報訪日伯國經濟使節サルガード・フイーリヨ氏以下五名は今日午後三時官邸に首相を訪問、文參事官その他の先導にて岸壁關先に於て訪日の挨拶を述べ直ちに辭去した

THA ORIENTE
PRETO PROMETO
シイア オリエンチ

材料日本品を積出す

先づ鋼材とセメント

在伯同胞熱意の結晶日本病院もいよいよ建築許可が下りたので日本内地では注文の由

土曜日行はれた同仁會募集の日本病院工事堰板の入札は條件にあはなかつた者もあつたが、條件と合致した者が五名最低六〇コントス六〇ミルでの材料日本品をどんどん送り出すことなつた、即ち八月十八日神戸出帆したモンテビデオ丸には鋼材、セメントが積込まれてゐる

鋼材の大部分は日本製鐵より購入したもので一噸八十圓、三井物産の方は九十二圓（直經六粍及び七粍半のもの）九粍のものは八十七円、セメントは淺野セメントより購入、五〇キロ入六枚合せ袋、一袋サントス渡し五十三錢で現在購入の分が二十三萬八千袋ある、船積の都合で全部は積み切れず一千二十袋のみ積んだので殘りは八月三十日出帆したハワイ丸に積んである

なほ運賃は未定であるが少くとも定率の半額にはなる見込の由

モザイク

土曜日行はれた同仁會募集の日本病院工事堰板の入札は條件にあはなかつた者もあつたが、條件と合致した者が五名

セラリヤ、アメリカーナに落ちた

◈

領事館ブラ拓の年寄組の野球戰、怪我のないやうに球は少年用で、ベースも少年用で三回まで……といふ珍ゲームをやつた結果、8A對6でブラ拓に敗けてしまつた

◈

六歩引き下がる途端、木の根につまづき轉んだ隙を見たバイアーノの一人がファツカを抜いて踊りかかつたのを防ぐため、倒れながらも腰のピストルを引き抜き射殺したものである

小玉氏は目下同地警察署の未決に收容されて居り、二十三日第一回予審が開かれるが、邦人側は正當防衛を主張、且つ全氏が模範的人物である事を證據立てるため、長崎縣歩兵第五十五聯隊在營當時の善行証明書を二十一日領事館にて翻譯證認して貰ひ予審當日提出する事となつた

棉作心得帖

注意が必要

植付と氣候關係

昨年より今年に掛けて聖州の氣候は變調子を續けて來たが、今日の狀態から考へても今年は例年よりも全体から見て氣候が變調子を來してゐる、時恰かも諸作物の植付期にあるので農業者はこの無軌道天候に惱まされてゐるが特に棉の植付期に關して今年は一層の注意が氣象上から見て必要であらう

右に關し總領事館勤業部主任江越技師は左の如く述べた

江越技師談

今年になつてからの棉の收穫は例年よりも大体一ケ月位早く終末をつけた、つまり棉の農年は約一ケ月早つたと云ふ事が言へやう、而して六月七月頃の寒氣は左程強く無かつた爲か

（一般） に今年から來年に掛けて虫害が多いだらうとの豫想をする人が多い樣だが必ずしもその後の天候狀態を見ると左樣に考へられぬ、要するに前に先立ち訓練所長田部武雄氏は地方事情視察旁人農事改良と青年教育問題懇談のため約廿日間の豫定で地方巡回の途につく事となつた、旅行日程は次の通り

九月二十五日　聖市發
廿六日　アバレー
廿七日　オーランニヨス
廿八日　レゼンテフエゴ

無軌道天候に

棉作心得帖

注意が必要

植付と氣候關係

昨年より今年に掛けて聖州の氣候は變調子を續けて來たが、今日の狀態から考へても今年は例年よりも全体から見て氣候が變調子を來してゐる、時恰かも諸作物の植付期にあるので農業者はこの無軌道天候に惱まされてゐるが特に棉の植付期に關して今年は一層の注意が氣象上から見て必要であらう

右に關し總領事館勤業部主任江越技師は左の如く述べた

江越技師談

今年になつてからの棉の收穫は例年よりも大体一ケ月位早く終末をつけた、つまり棉の農年は約一ケ月早つたと云ふ事が言へやう、而して六月七月頃の寒氣は左程強く無かつた爲か

（一般） に今年から來年に掛けて虫害が多いだらうとの豫想をする人が多い樣だが必ずしもその後の天候狀態を見ると左樣に考へられぬ、要するに前に先立ち訓練所長田部武雄氏は地方事情視察旁人農事改良と青年教育問題懇談のため約廿日間の豫定で地方巡回の途につく事となつた、旅行日程は次の通り

九月二十五日　聖市發
廿六日　アバレー
廿七日　オーランニヨス
廿八日　レゼンテフエゴ

強盜を射殺

邦人側、正當防衛を主張

二十三日豫審

オバルド驛ペラビスタ耕地在住の藤澤良之助氏宅に强盜が侵入したとの急報を受けた同地日本人會副會長吾崎縣人小玉光治氏（三八）は急ぎ馳せつける途中、右の三、四名からなる强盜團と遭遇し脱み合つたまま五、六歩引き下がる途端、木の根につまづき轉んだ隙を見たバイアーノの一人がファツカを抜いて踊りかかつたのを防ぐため、倒れながらも腰のピストルを引き抜き射殺したものである

小玉氏は目下同地警察署の未決に收容されて居り、二十三日第一回予審が開かれるが、邦人側は正當防衛を主張、且つ全氏が模範的人物である事を證據立てるため、長崎縣歩兵第五十五聯隊在營當時の善行証明書を二十一日領事館にて翻譯證認して貰ひ予審當日提出する事となつた

日本病院

材料日本品を積出す

先づ鋼材とセメント

在伯同胞熱意の結晶日本病院もいよいよ建築許可が下りたので日本内地では注文の由

日排の

ペルー

大會宣言書

ペルー政府は六月廿六日大統領令を公布在留外國人數を限定し且つ營業を禁止したが、右法令の施行に依り在留邦人は二千万円以上の損害を蒙り且つ日本移民は入國絶對禁止の厄に遭ふに至つたが、ペルー在留邦人二万三千の死活問題である全秘在留民大會が八月二日リマ市に於て開かれた、藤村領事をはじめ、折柄來秘中の松永巡閲使も臨席、各地代表も多數參列、參加者實に四千余を算する盛況で左の如き決議をなした

當日の會議は實に五時間に亘り、在留民の悲痛なる叫びであり、現在排日雰成氣運にある當ブラジル在留の我々にとつても他石の石とすべきであらう

在伯同胞に他山の石

二万三千の死活

在留民大會を開催

悲壯なる團結の決意

秘露と我が日本とは既に六十年に亘り兩米における最古の修交國にして、今や在留邦人第二世を加へて二萬三千余、農業に商工業に秘露の産業興發に貢献すること卅有七年、日秘兩國の關係益々密接ならんとする時、突如秘露政府は去る六月廿六日付を以て秘露に在住外國人移民入國乃至營業制限の大統領令を公布せるが、その立法精神は明かに我が日本人を目標とせるものにして其内容は吾が日本移民の入國を禁じ既得權益を侵害し、將來吾人の發展を拒否する峻烈苛酷なる暴令なり

更に最近數年間の秘露の動向を見るに日秘通商航海條約の廢棄を宣言し秘人雇傭八割制日本綿製品輸入制限等相ついで邦人又は邦品の排斥をなし帝國の威信を傷ける國際信義を蹂躙せるものにして其意圖する處日本人排斥にあるは明かにして我等はために生活の不安と生命財産の脅威を痛感するものなり

惟ふに吾人の當國に在住するや、日秘條約に基き秘露國憲法に依り營業居住旅行の自由と安全を保障せられをるものにして吾等は過去有卅七年常に祖國を愛するが如くペルー國民と等しく忠誠の念を披瀝し日秘兩國の親善和協を旨とするものなり、然るに吾等の衷情を諒解し或は吾人を目するに恐日感情に囚はれ風聲鶴唳いたずらに脅かされるる者なきに得り難しと雖も吾等が如何に忠誠なりしは過去に於て幾多實例あり、然るに今回の如き吾等に最も密接なる法令をすら我が出先官憲に何等一片の豫告なくして發布せられたる如きペルー政府が國際信義を無視せるはペルー國のため眞に痛嘆に堪へざる處なり

吾人は全秘露在留邦人の名をもつて正義と人道に基づく吾人の主張と希望とをペルー朝野にうつたへて其反省を促し更に母國日本の秘露在留民に對する誤れる觀点を是正し、秘露における吾人の重要性を深く認識せしめ以て日本政府の對秘外交の强化確立を要請すると共に内に吾等の結束を堅固にし、臥薪嘗膽現下の難局の打開と將來日秘兩國の親善關係の促進を期するを目的とし本日ここに在秘全在留民大會を擧行せり

吾等の目的は正義人道に忠誠なるものにして此目的達成は至難と雖も吾人は宜しく上下心を一にして民意を併せ常に相互の信愛と忍耐と互讓衝正の精神を以つて吾人の最後の目的貫徹を期す

右宣言す

昭和十一年八月二日

在秘露全在留民大會

決議

一、我等在留民は現下の重大時局に鑑み一致團結光輝ある吾等の歴史と帝國の威信のため全力を擧げて大統領の大修正に依り本問題の徹底的解決を期す

二、日秘關係の重大性と修交的親善關係を恒久不變なしめ對秘外交の確立强化を期するため外交機構の刷新向上を希望す

三、故國朝野に向つて時局の緊密重大なると秘露における在留邦人の重要性を正しく認識せしめ故國政府に對し積極的支援を要請す

四、秘露國に對する吾等在留民の一貫せる信愛の誠意を披瀝して日秘の親交に立脚せる精神の下に常に吾等在留日本人の公當なる既得權益の尊重せられん事を期す

右決議す

昭和十一年八月二日

全秘露在留民大會
委員長　高橋林右エ門

服部農事訓練所長宣傳行脚へ

生徒難から開校は十一月

さきに設立された日伯農事協會經營の農事訓練所は九月から開校の豫定であつた處、主旨が一般に徹底しなかつたせいもあつて申込者が少く、止むなく十一月初旬に開校する事に變更するに至つたがそれに先立ち訓練所長田部武雄氏は地方事情視察旁人農事改良と青年教育問題懇談のため約廿日間の豫定で地方巡回の途につく事となつた、旅行日程は次の通り

廿九日　ブ・ブルデンテ
三十日　ア・マツシヤード
十月一日　サ・アナスタシオ
二日　ランシヤリア經由
三日　パストス
四日　滯在
五日　マリリヤ
六日　滯在
七日　リンス
八日　滯在
九日　カフエランジヤ
十日　ブロミツソン
十一日　ペンナポリス
十二日　アラサツーバ
十三日　同地發
十四日　歸聖

尙全訓練所には本科生の他に別科生（勞働によつて寄宿舍費等を生み出す一種の作業生）二十名をも募集する事となつたが本科、別科を問はずいやれも農事の實際的指導と堅忍不拔なる精神の涵養を目的とする補習教育を施すもので近來盛んに提唱されつゝある「農民道場」などと精神を一つにするものである

昨日服部所長は記者に抱負の一端を語つた

父祖の業を繼ぐためには先づ第二世の人間をつくらなければならぬので、精神教育を主として、日本精神を鼓吹すると同時に職業教育に向つて進んで行く方針である、例へば生徒を各組に分けて一定の地區を受持たせ、その受持つた地區に對して經營主となつた心持で在學中實際に經營させて行き、自信をもたしたいと思つて居ります云々

農事訓練所長宣傳行脚へ

生徒難から開校は十一月

作業には助けとなり耕働作業は今年は一般に大いに進捗したと見る事が出來る故に作土が反轉された後に寒氣が再び襲來した、此頃の南風がもたらす晩寒の影響は相當病虫害被害程度に農家に取つては好影響を與へた、少くも棉の根切虫被害の豫想の点からのみ考ふれば今年は氣候は變調ではあるが寒ろ理想的であると言へ樣

今農家は一般に根切虫の被害を考へて慾ど非常に遲蒔きを好む傾きがあるが前述の理由で徒らに此被害のみを恐れて適期をあやまらぬ樣に仕度いものである

なほ今後十月以後の雨期は如何に進むかは今から豫測は出來ないが今年の雨期が早い位に來てゐる氣候關係は植付栽培前に充分考へなくてはならない事である

島敎師指導のもとに獨立記念

りを儲けた

◈

前号コチア產組公金費消事件記事中「宮崎事件」とあつたが、これは昭和五年亞國へ逃げた同組合會計宮崎直三郎の事件で、現會計も同じ宮崎だが、同姓異人だから……とわざ〳〵當の宮崎氏から電話があつた

ソロ線奥ブ・ブルデンテ日本人會

ソロ線奥ブ・ブルデンテ日本人會では新校舍を建てるについて不要になつた舊校舍及び敷地をリフアにかけて賣却したが賣上金が三二コントス余あつた

社告

▲少年　二、三名
▲解版工（男女）　一、二名
▲女事務員（發送係）

右至急募集
委細面談
聖州新報社

製糸工場指定
大阪屋旅館
パストス市街地

農藥の自給
木苗スリデ

特ニ昆虫類ニ對シテハ痲藥ヲ伴ハズ徹底的ニ殺虫作用ヲ營ムヲ特長ト致シマス
愈々雨期トナリ活着容易トナリマシタノデ荷造ヲ簡便ニシ荷造費、運賃ヲ引下ゲ値段低下ヲ計ツテキマス
コノ際是非御注文願ヒマス
値段十本以上　一本ニ付　五$〇〇〇
（エンコメンダ運賃當方負担）
◈ 説明書ハ御申込次第直ニ御送附申上グマス ◈
取次販賣元
サンパウロ市　カーザ東山
Rua Florencio de Abreu, 74-A
Caixa Postal, 528 - São Paulo

藥害皆無
人畜無害

廣告

本組合に於て先にサンパウロ市内に支店開店後既に一ケ月此處に漸く諸般の設備整ひ組合運用の諸事務愈々其の圓滑を期する事と相成り候就而は便宜上以後本組合宛の書信一切左記宛に御願申上度及廣告候

左記

本組合支店　サンパウロ市
ルア・ミゲール・カーロス七七
電話　四二一九七〇

ジユケリー農產組合

大至急
理髮職人募集
マリリア市　サンルイス街七七
遠山理髮店

Y. Shimizu
DENTISTA
Estação Promissão
歯科醫
清水安丸
ブロミツソン町

女中さんを求めます
十七、八才より廿二、三才迄
高給、家族的待遇を致します
聖市　サンタルジア街八八
日伯シネマ社

御泊りは是非
山陽ホテル
藤田廣三郎
アラサツーバ驛
郵函三〇〇

▲お泊りと
お食事は……
聖西食堂
河本長太郎
聖市プタンタン街十一
（松下商店前）

讓り度し

今般私儀家事都合に依り歸國致します。就きましては目下盛業中の（ブラ拓チエテ移住地指定旅館）ホテル・チエテを居抜きのまゝ格安御讓り致します
御希望の御方は御來談願ひます

ノロエステ線ルツサンビラ驛
チエテ移住地第一市街地大通り
ホテル・チエテ
加藤兒一郎

Assignaturas
Anno, 30$000 - Semestre, 15$000 - Avulso, $500

Noticias de S. Paulo
(Jornal Nipponico)

S. Paulo, 22 de Setembro de 1936
Anno, XV — Numero 1.142 (四)

文藝

自己短歌の再表現

君村枝葉

聖報文藝八月十八日に於ける投者の寒き朝焚火圍めば立こむる煙にむせて咳の出でけり

此の歌に對する選者の評は「かこめば、立ちこむる、出けり」を時間的に見て事實性を缺く「圍めばを、圍みてにし、立ちこむるを立ちこめしにしたら眞實性が現れるが如何とある。然り、確かに事實性に缺くものありですが作者が選者の高評に申し上げ度いものは「圍みて立ちこめ」に對し、今一度再考の上表現を新にして選者並に歌作者各位の御批判を願ひ度いと存じます、作者は彼の句に對して批判を成して居なかつた爲、かゝる現實性を缺く文律をそのまゝにしてゐたことは作品に對する作者の作歌修練が足りないこと申す迄もありません、併しながら又一面農民生活の忙はしさから批判することなく投する如き無自覺あるを察し「戴き度いかこめば立ちこむる出けり」少し考察すればこの中に時間的な心理の錯誤を認め得る、之と同樣ではないが、作者が評者の「圍みて立ちこめ」の語句には心理の滿足を得る事は出來ない、此誤謬は作者は直接其の場面にあり、評者は間接である、此故に作者と評者の心理は不調調であり その修飾語句の相違を如何ともすることが出來ない

作者は此心理の相違を曖昧にし度くないが故に表現を新にして諸作家の吟味を乞ふ次第である、併しながら選者の評句に對しては何等の肯定や反駁態度を取るの必要はない、正直に記せば作者は表現文律が缺き、選者は內定文律の改變が作者の心理と不調調である——いはば表現形式と技法とが現實性を把握し得なかつたものである、かゝるが故に作者が不要意に使用した二つの語句を改めて次の如くにしたい

寒き朝焚火に寄ればふすぶりの煙にむせて咳の出でけり

現實性と表現の問題でありの改變が作者の心理と不調調である——いはば表現形式と技法とが現實性を把握し得なかつたものである、かゝるが故に作者が不要意に使用した二つの語句を改めて次の如くにしたい

寒き朝焚火に寄ればふすぶりの煙にむせて咳の出でけり

現實性と表現の問題でありの改變が作者の心理と不調調である——いはば表現形式と技法とが現實性を把握し得なかつたものである、かゝるが故に作者が不要意に使用した二つの語句を改めて次の如くにしたい

同じく十八日の○○氏のものに「こつそりと叩く」の歌があるが、このこつそりとにの中こそ、技法のまずさと非現實性を多分に持つていればしないかと愚考される、作者に同ひしたいことは、こつそりと叩く、この語句の實在性である、評者（枝葉）も現在作者と同樣の勞働を終つたまゝであるが、こつそりと叩くと申すと、他人のどがめを受ける爲にその人に知れない樣に叩くの意でせうか、此の場合こつそりとの語句の中に詩的價値が缺けてゐればしないでせうか、私はこの句に私の心理的性格を投するなれば、こつそりとをやはらかにとか、靜やかにとかに變えて見たいと思ふ

これは僕の淺薄な藝術の中から他人を理解せんとする際の狹きを知りながら評したものであれば各位の高評を待望してやまないものである

一九三六、八月末日記

白日社 短歌會

九月五日夕 自由學園にて

渡邊南仙子選

文化 古澤晩鐘

暖かに春の光りを一ぱいに空に流れ來るギター！に胸は思ひ出に痛み出したりしばし止めて

アツシス三浦とし子

ひさびさに街に出で見れば繪日傘のその色どりにひろごるよろこび

マリリヤ 深澤深水

新らしきミシンふみ居る新妻の前髪ゆるゝ明日は日曜

カンポネーザ 佐藤秋月

君逝きし日を偲びつゝ葉の落ちし木棉のみきの寄きに見入る

マリリヤ 增田秀之助

聖日のぬくき午後なり二人の娘馬に抱き相ひ町に出て行く

乘合の釜のニッケル日が踊り向ふの道に人降りたらし

パラナ 澁川不二夫

淋しきの余り借り來しヴィオロンを彈くすべもなくしつかと抱く

眞白にカフエーの花の月夜なり山の村にも春は來にけり

文化 木下綠陰

ギターうまき少女なりけり宵毎に二人泣きしに今はせんなし

ビーピーと山を戀ひつゝ籠の鳥の身を浮き鳴く青きその瞳よ

青空に消えてしまひしシャボン玉いらだつ胸も平らになりぬ

讀古りし本より出でし櫻おしば花淡きその香に往時を偲ぶよ

同 三浦みよ子

よべの雨すつきり霽れてこの朝やあ部落は種を蒔く音ばかり

あやまちに默々詫びもせぬ妹悲しきまでに我が性に似し

長病みて居る弟は珈琲園に奉て鳴く鳥に雨を予告す

文化 湯淺愛橘

戀あらば戀に死にたし月今宵

花コーヒーの小經をありく

嬌すべく知りつゝ眞似て片言のまゝに夕餉を子と妻と三人

そのかみの初戀あはれ珈琲の花又咲けり月又驚る

聖市 さだめ

口唇に玉蟲色の紅さして粧ふ亡母をば戀ふわが三十路

懷かしくなしやとこへど故里は母逝きしより果かなかり

やけ酒もよしやとてトマテの二万本霜にいため男心かな

轉向に遂に叛きし弟の死を聞く朝やあゝその朝や（共產黨員なりし亡弟に）

雨の聖市所見三首 南仙子

雨の灯に噴水昇る公園を妻と歩む語る事もなし

ネオンサイン雨の車道に飛び散つて店のラヂオと相彈ず合ふ

春雨に濡れ立つ街の廣場なり石像悲 緋紅の躑躅

次回 十月三日夕七時自由學園近詠五首パラグアスIC・P・W宛

俳句落穗會句會

九月八日夕より互生會にて落穗會第九回俳句會があつた

兼題 麗か、春雨

席題 山燒、春の月

春 波

ゴム合羽色とりゝに春の雨

春雨や家鴨むらがる水たまり

春雨の音靜かなる溫泉かな

松波

春雨や傘なき人の軒づたひ

春 麿

洗ひ髮かはかす乙女麗かな

春雨の音靜かなる溫泉かな

都浪

種殼をかつい〻蒲へし豆の星

五分ほど白ふ五分ほど青き

評 歌にした俳句である。素氣な過ぎるとも想ふが

顯 州

暖かき春風受けつゝ名も知らぬ小草蒔えけり牧場の柵に

釣すみし山とも見えずセーター

薄紫にかすみたなびく

中須夏山

鶏の鶏冠も紅く陽に透きて春たちそむる庭の明かるさ

片言を口ごもりつゝ言ひ張る子等の瞳のあかるさ怨み

評 子に反省を强ひるばかりの親では斯うして子等の瞳のあかるさ怨みは歌ひ得ませぬ「片言を口ごもりつゝ」にたまらなく可憐さが表はれて居る

▲動無規程

批評、論說、隨筆等は原稿用紙十三字詰十行、十枚內外のもの

總べて投稿は、紙上匿名にて、住所本名明記の事

聖報歌壇

A 組

妻を待つ 金子秀雄

ながら病み妻の退院近づきて花嫁迎へるに似しときめき哉

評 長く病みし妻の退院近づきて花嫁迎ふる如きときめき。としたら如何

びつくりした姿の儘で笑ひたり珈琲の實もぎに小鳥飛出！

評 貴方の歌ったこの氣持ち、そつくり俳句になりそうです

少し許り肉つきて來し我が妻の腕を試して泣きたかりけり

妻歸へる

妻のゐる九ケ月振りの夕餉の味噌汁吸ひつふくらむものよ

醫岐田春陽

妹の我に着せんと何か編む次第に嵌る毛糸玉悲し

雨後の朝米の種子選る指先にふるる重みの悅しきはなし

灯火もやがて盡なん曉の通夜親子ばかりの默る寂しさ

愛し子よ無心のまゝに逝きにけり起れる埋葬も我が手一ツに

轉寢しき若き男の唄ふかなイヤ咲く部落の雨晴の暮

朝晴れや甘き香りの牛乳搾れば指につたふる溫みのよさよ

鐵領事官邸にて 南仙子

今歡末咲き官邸の午後靜かに鯛の刺肉を主人の話と

聖市に拾ふ

豐はきは猫戀を見しサンパウロの安宿裏の日本風呂かな

イビランガ所見

蹤躅散る霧濃き國の記念像青く錆びたるその形美し

北樹

B 組

夜深く一人目覺めてしみ〻

撫でやるぞよ汝が黑髮

明日又玩具を置きて床に入る吾子は眠れど母に淋しき夜

佐藤花情

郊外を頭にのせて笑ひ合ひ著きラバデーラ夕街に入る

愛の女受け二世の娘のいちし

しき讀ぬがまゝに疊む姿の

聖日傍通りゆく伯人選に働けり起れる我が手一ツ

迷羊子

彼處又人家なるらしラランジヤの花香ひ來ぬ鶏も遊べり

我いゆく道は曲りて山窪にリアシヤの花盛り香へり

江絹

水かけて植ゑし甲斐あり玉蔥の草を取りつゝ一人思へり

隣家では豚殺すらし小糠雨ぬれて部落の子等の集へり

雨上り何か搖くらしブランタの音高きかも姿見えねど

呑み過ぎて吾子に物言ふ父の顏冷やかなれば我も悲しき

隣り娘のやさしき言葉思ひつゝ夜窓をくるに降りたる細雨

澁川不二夫

生活に疲れし心慰さむる如くに今日も春雨の降る

中村幽情

幾度か泣かせし父母の佛前にぬかづく心何故ぞかし

苦勞のみ積ねて逝きし老親の姿思ほゆ秋の此の日よ

木安卓兒

雨の中サッコかづきて行く人は女なるらしいたくな降りて

雨上りの後のいきゝの水溜に家鴨の子等は泳ぎ居るかも

蘇花

諦めに似たる心で醫者を待つ

山家は椰子に風の音のみ

評 日本なら「山家は松に風の音のみ」とでもすべき處を伯國なれば「椰子に風の音のみ」である。三唱した時諦めても醫者待つ心が植民の胸に沸く淋しさを察しする「でも生きなきや」

春の雨木の葉汚れを洗ひけり

春雨や向ふの山のぼやけたる

久方の妻の音じめや春の月

顯 州

麗かや陽を背に臥せる牛親子

廟々と春雨そゝぐ梨の花

火焰這ふ大山燒きや灰のまゝ

春に想ふ

さだめ

イベは紅き夢を追ひて

暗き厭始の森に佇づみ

異郷の空の淋し我が身に

咲きては巡る又の春

……

口笛ふくろく土塊をうてば

風にさゝやく

椰子の葉ずれ

黑生の野邊に陽炎の

若き命と燃るかな

さはれ悲しき

サビアー鳴きて

故里戀ふる春の夕べ

さまよひ行けば珈琲の

眞白き花の匂ぐはしき

芳園

戶をくれば糸の如くに春の雨

麗かや薪たく汽車のよく走る

春の月夜毎夜毎の後仕舞ひ

都司

砂蛋堀の後のかゆみや春の雨

春雨や午勞芽を出す流し元

山燒きの無事見屆けし水の味

評 一人笑みつゝ……

「一人嬉しく」にしたら「笑みつゝ」より落ちつきと心の深みが表はれるを想ふが

特選歌 木安卓兒

ユーカリの種を蒔かんと濕ちたる土耕せば土の香のよき

皆樣に 金子秀雄

八月三十日に私の妻は退院しました。第二回目の退院をしてより四ケ月と十三日になります。病み出してより約九ケ月と云ふこんなになりますが死なないでよくなつて歸つてくれたこと只管よろこぶばかりです

いろいろとお勵まし下さつた聖州新報社の方々及び聖報歌壇の皆樣に深く感謝申します

▲動無規程

批評、論說、隨筆等は原稿用紙十三字詰十行、十枚內外

五ミル也 河野清次郎

▲アララクアラ線ロオブレー

續（各全額拂込濟）

壹百五拾ミル宛 岩崎初順、平

拾ミル宛 須谷勝義、田村清九

郎、宮村正人、稻積市藏

拾ミル宛 宮崎市太郎、古川

拾五ミル宛 田生藤、卜門政助

▲サンパウロゴヤス線オンダ

ベルデ驛マクコ耕地（各全額

壹百ミル宛 山口嘉爾、水國

五拾ミル宛 外村正幸、尾川

熊雄、石川壽夫、中井亀壽

千代松、平岡谷八、山口三男

拾五ミル也 山本嬰藏

▲同線同驛常磐耕地（各全額

拂込濟）

壹百ミル也 佐藤一男

拾ミル宛 徒子覺、飛田丑次

五ミル也 河野清次郎

▲アララクアラ線ロオブレー

續（各全額拂込濟）

壹百五拾ミル宛 金水好男、

稻田安喜

貳百ミル宛 江坂彦七、青木

五拾ミル也 田生悟市郎

參拾ミル也 上原與亀

貳拾ミル也 宮林政二

貳拾五ミル宛 田生藤、杉谷信

一、河內保平

拾ミル宛 林登、島田與平、

村上張司、照屋慶幸、橫山敷

一、日野參太、市瀨岩太郎、

菊地鶴巳、磯谷朗、猪瀨政雄

藤原泉、澁谷健一、清水勇吉

林田政志

五ミル宛 ジョゼ・マルコン

デ、木村新太郎、島田重四郎

淺野榮造、菊地佳之助、淀野

金三郎、岡村重藏、牧山倉作

俵藤重治、筒井竹五郎、神子

田政吉、田中一郎、荒木武次

郎、松本晉次郎、高橋正男、

黑木竹男、齋藤敏枝、上村茂三

三ミル也 遠藤才治

▲モジアナ線ジヤヂノポヤス

壹百五拾ミル宛 金水好男、

稻田安喜

貳百ミル宛 江坂彦七、青木

五拾ミル也 田生悟市郎

參拾ミル也 上原與亀

貳拾ミル也 宮林政二

貳拾五ミル宛 田生藤、杉谷信

一、河內保平

拾ミル宛 林登、島田與平、

村上張司、照屋慶幸、橫山敷

一、日野參太、市瀨岩太郎、

菊地鶴巳、磯谷朗、猪瀨政雄

藤原泉、澁谷健一、清水勇吉

林田政志

五ミル宛 ジョゼ・マルコン

デ、木村新太郎、島田重四郎

淺野榮造、菊地佳之助、淀野

金三郎、岡村重藏、牧山倉作

俵藤重治、筒井竹五郎、神子

田政吉、田中一郎、荒木武次

郎、松本晉次郎、高橋正男、

黑木竹男、齋藤敏枝、上村茂三

三ミル也 遠藤才治

▲モジアナ線ジヤヂノポヤス

續（各全額拂込濟）

壹百五拾ミル宛 金水好男、

稻田安喜

壹百ミル宛 宮崎市太郎、古川

五拾ミル宛 卜門政助

▲サンパウロゴヤス線オンダ

ベルデ驛マクコ耕地（各全額

壹百ミル宛 山口嘉爾、水國

五拾ミル宛 外村正幸、尾川

熊雄、石川壽夫、中井亀壽

千代松、平岡谷八、山口三男

拾五ミル也 山本嬰藏

▲同線同驛常磐耕地（各全額

拂込濟）

參百ミル也 佐藤一男

拾ミル宛 徒子覺、飛田丑次

五ミル也 河野清次郎

▲アララクアラ線ロオブレー

續（各全額拂込濟）

壹百五拾ミル宛 西田忠一、

緒方房吉

壹百ミル宛 持田平助、平田

道藏、高木幾松

五十ミル也 平田淺太郎

▲サンパウロゴヤス線オンダ

ベルデ驛サンタヨアン耕地

（各全額拂込濟）

參百ミル宛 渡邊久、稻垣桃

一、安齊佐次郎、渡邊利國、

服部助丸

壹百ミル宛 堀江清

貳百ミル宛 堀江三郎、古川

貳百六拾ミル也 堀江清

傳治、渡邊利輝、西宗友三郎

百五拾ミル宛 瀨戸口彌助、

石井慶作

壹百ミル宛 畠中和夫、渡邊

利通、木澤義喜

五拾ミル宛 伊倉政治、渡邊

利尾

▲鐵線オンダベルデ町（各全

額拂込濟）

壹百ミル宛 佐野好三、遠藤

國次

五拾ミル也 館尾直琴

貳拾ミル也 清水吉太郎

▲仝線ノーバグラナダ驛サマ

ンバーヤ耕地（各全額拂込濟）

壹百ミル也 木多誠二

▲アララクアラ線リオブレー

ト市（各全額拂込濟）

五百ミル也 渡邊俊雄

貳百ミル也 成田實

壹百ミル也 丹治良雄

貳拾ミル也 當間重一

▲同線同驛マクコ耕地（各全

額拂込濟）

五百ミル也 池澤初五郎、外村

貳百ミル也 岡崎寬一、榊原利一、

壹百ミル也 清水徳義、大村勘七、福山勇

▲リオブレート驛福島耕地

（各全額拂込濟）

壹百ミル也 富田要人

五ミル也 武田利明

▲サンパウロゴヤス線オンダ

ヴエルデ驛サンタ・イレーナ

耕地（各全額拂込濟）

壹百ミル也 內田立作

五拾ミル宛 若林清、入江重

拾ミル宛 港位助、津田藤造

▲ノーバグラナダビネロ耕地

（各全額拂込濟）

貳拾ミル宛 關本清藏、宮西

五拾ミル宛 菊本作司、高

百五十ミル宛 木常吉（各七十五ミル宛拂込

濟）

一百ミル宛 大內寅藏、庄野

格甫、實川豐作、高荒誠、高

塚繁雄、後藤鶴三、上村一郎

野呂清作、菊地希一、梅村悅

▲オンダヴエルデ驛ゴリーナ

宛拂込濟）

八十ミル宛 野口一郎、西澤

義雄、佐藤勉、牛渡清記、西

岡喜一郎（各四十ミル宛拂込

濟）

六十ミル宛 佐藤芳太郎、川

口久藏（各三十ミル宛拂込濟）

五十ミル宛 村田松二、高松

三平、上利與三（各二十五ミ

ル拂込濟）

四十ミル宛 櫻岡義男、牟田

金三（各二十ミル宛拂込濟）

▲オンダヴエルデ驛ネカメデ

ラ耕地

八十ミル拂込濟 七戶忠雄（內四

十ミル拂込濟）

四十ミル也 川上市太郎（內二

十ミル拂込濟）

▲仝驛 常磐耕地

一百ミル宛 大關七郎、三枝

五十ミル宛 大關友貞（各五十ミ

五十ミル宛拂込濟）

貳百ミル宛 鈴木房次郎、大

關諒次郎、大關正義、三浦圭

三、太矢新一郎、田中保隆、

柏淵幸太郎、中谷肇（各二十

五ミル宛拂込濟）

四十ミル也 大關宮司（內二

十ミル拂込濟）

三十ミル宛 貳濱壯助、國平

彦太郎、貳枝壽吉、國平七助

米谷俊一、佐藤利男（各十ミ

ル宛拂込濟）

三十ミル也 古橋米次（內二

十ミル拂込濟）

▲累計九百〇三コントス二百

四十七ミル七百レース也

（內拂込濟二百九十三コントス八百六十二ミル二百レース也）

一九三六年九月八日

聖市日本病院

建設委員會

聖市日本病院建設寄附應募者芳名並金額

第五十三回發表

「リベロン・プレート地方委員會扱」其の十六

▲アララクアラ線ウバロー

バ驛アグアスミグ耕地（各全額拂込濟）

五拾ミル也 池原亀

參拾ミル也 肱岡國利

拾五ミル也 倉田和一

拾ミル也 岩瀨德太郎、仲元

吉成、與座池仁

七ミル也 中里清美

五ミル也 大竹豊作

▲仝線カンプィ驛（各全額拂込濟）

壹百ミル宛 江坂彦七、青木

五拾ミル也 田生悟市郎

參拾ミル也 上原與亀

貳拾ミル也 宮林政二

貳拾五ミル宛 田生藤、杉谷信

一、河內保平

拾ミル宛 林登、島田與平、

村上張司、照屋慶幸、橫山敷

一、日野參太、市瀨岩太郎、

菊地鶴巳、磯谷朗、猪瀨政雄

藤原泉、澁谷健一、清水勇吉

林田政志

五ミル宛 ジョゼ・マルコン

デ、木村新太郎、島田重四郎

淺野榮造、菊地佳之助、淀野

金三郎、岡村重藏、牧山倉作

俵藤重治、筒井竹五郎、神子

田政吉、田中一郎、荒木武次

郎、松本晉次郎、高橋正男、

黑木竹男、齋藤敏枝、上村茂三

三ミル也 遠藤才治

▲モジアナ線ジヤヂノポヤス

續（各全額拂込濟）

壹百五拾ミル宛 金水好男、

稻田安喜

壹百ミル宛 宮崎市太郎、古川

五拾ミル宛 卜門政助

▲サンパウロゴヤス線オンダ

ベルデ驛マクコ耕地（各全額

壹百ミル宛 山口嘉爾、水國

五拾ミル宛 外村正幸、尾川

熊雄、石川壽夫、中井亀壽

千代松、平岡谷八、山口三男

拾五ミル也 山本嬰藏

▲同線同驛常磐耕地（各全額

拂込濟）

參百ミル也 佐藤一男

拾ミル宛 徒子覺、飛田丑次

五ミル也 河野清次郎

▲アララクアラ線ロオブレー

續（各全額拂込濟）

壹百五拾ミル宛 西田忠一、

緒方房吉

壹百ミル宛 持田平助、平田

道藏、高木幾松

五十ミル也 平田淺太郎

▲サンパウロゴヤス線オンダ

ベルデ驛サンタヨアン耕地

（各全額拂込濟）

參百ミル宛 渡邊久、稻垣桃

一、安齊佐次郎、渡邊利國、

服部助丸

壹百ミル宛 堀江清

貳百ミル宛 堀江三郎、古川

貳百六拾ミル也 堀江清

傳治、渡邊利輝、西宗友三郎

百五拾ミル宛 瀨戸口彌助、

石井慶作

壹百ミル宛 畠中和夫、渡邊

利通、木澤義喜

五拾ミル宛 伊倉政治、渡邊

利尾

▲鐵線オンダベルデ町（各全

額拂込濟）

壹百ミル宛 佐野好三、遠藤

國次

五拾ミル也 館尾直琴

貳拾ミル也 清水吉太郎

▲仝線ノーバグラナダ驛サマ

ンバーヤ耕地（各全額拂込濟）

壹百ミル也 木多誠二

▲アララクアラ線リオブレー

ト市（各全額拂込濟）

五百ミル也 渡邊俊雄

貳百ミル也 成田實

壹百ミル也 丹治良雄

貳拾ミル也 當間重一

▲同線同驛マクコ耕地（各全

額拂込濟）

五百ミル也 池澤初五郎、外村

貳百ミル也 岡崎寬一、榊原利一、

壹百ミル也 清水徳義、大村勘七、福山勇

▲リオブレート驛福島耕地

（各全額拂込濟）

壹百ミル也 富田要人

五ミル也 武田利明

▲サンパウロゴヤス線オンダ

ヴエルデ驛サンタ・イレーナ

耕地（各全額拂込濟）

壹百ミル也 內田立作

五拾ミル宛 若林清、入江重

拾ミル宛 港位助、津田藤造

▲ノーバグラナダビネロ耕地

（各全額拂込濟）

貳拾ミル宛 關本清藏、宮西

五拾ミル宛 菊本作司、高

百五十ミル宛 木常吉（各七十五ミル宛拂込

濟）

一百ミル宛 大內寅藏、庄野

格甫、實川豐作、高荒誠、高

塚繁雄、後藤鶴三、上村一郎

野呂清作、菊地希一、梅村悅

▲オンダヴエルデ驛ゴリーナ

宛拂込濟）

八十ミル宛 野口一郎、西澤

義雄、佐藤勉、牛渡清記、西

岡喜一郎（各四十ミル宛拂込

濟）

六十ミル宛 佐藤芳太郎、川

口久藏（各三十ミル宛拂込濟）

五十ミル宛 村田松二、高松

三平、上利與三（各二十五ミ

ル拂込濟）

四十ミル宛 櫻岡義男、牟田

金三（各二十ミル宛拂込濟）

▲オンダヴエルデ驛ネカメデ

ラ耕地

八十ミル拂込濟 七戶忠雄（內四

十ミル拂込濟）

四十ミル也 川上市太郎（內二

十ミル拂込濟）

▲仝驛 常磐耕地

一百ミル宛 大關七郎、三枝

五十ミル宛 大關友貞（各五十ミ

五十ミル宛拂込濟）

貳百ミル宛 鈴木房次郎、大

關諒次郎、大關正義、三浦圭

三、太矢新一郎、田中保隆、

柏淵幸太郎、中谷肇（各二十

五ミル宛拂込濟）

四十ミル也 大關宮司（內二

十ミル拂込濟）

三十ミル宛 貳濱壯助、國平

彦太郎、貳枝壽吉、國平七助

米谷俊一、佐藤利男（各十ミ

ル宛拂込濟）

三十ミル也 古橋米次（內二

十ミル拂込濟）

▲累計九百〇三コントス二百

四十七ミル七百レース也

（內拂込濟二百九十三コントス八百六十二ミル二百レース也）

一九三六年九月八日

聖市日本病院

建設委員會

二ミルル均一

パウル市各病院醫院に連絡があります
御病名によつて各專門醫に御案內致します
法律の通譯、就職の御周旋、領事館宛各書類の代筆等手落なく御便利はかります

藤田旅館

藤田ヒノ

パウルー驛前

郵函一番 電話二二二番

料理 菊水 春勇

電話 二一〇三九九

氣持の良いサービス・新鮮な御料理……

亭料 あをやぎ

聖市タバチン グーラ街八番

電話二一一九四八

Y. HIRAI
DENTISTA

齒科醫

平江安雄

マリリア市 朝日旅館內 ポンペイア町

ホテル エスタソン

マリリア驛前 郵函 一一二 電話 十八番

澤尾啓三

肺、肋膜のお方は

療友舍へ

月二百ミル 舍主 竹田

中央線サン・ジョゼ ドスカンポス

ブラツサジョンメンデス六

石材商

墓石、挽臼、記念碑、石像、石燈籠、其他美術彫刻、石材工事、出張工事の御用命にも應じます

內畠祥光

Caixa, 1850 S. Paulo
工場 R. Bandeirantes, 427
自宅 Villa G. de Sarzedas, 220
Casa Pos. 2 - Tel. 2-306

H. Harada
DENTISTA

齒科

ドットール ジョゼー・キントール

聖市ビネロス カルデアル アルコベルデ街 三六四—B

原田英申

調劑正確

我々の

ウニオン藥局

マリリア市ノーベ・デジユーリヨ街（サンパウロ銀行隣）

齒科醫院

池本亀雄

アララクワラ市アベニーダ サンパウロ101

日本品雜貨類仲買 スタンダード石鹸販賣 油 ガソリーナ

出森商店

出森金藏 ベンナポリス町 電話三四

Casa Honda

日本品雜貨

本田商店

本田授

グヤキサーラ驛 郵函—四七

內科 外科 產婦人科 ×光線科

外科 手術室、婦人病特別療室ノ設備アリ

醫學博士 アントニオ・アフオンルヂゲル

パウル市モンセニヨール街四—三〇 電話二五九番

アウストリア醫科大學教授、ブラジルパラナ醫科大學教授、歐洲大戰爭アウストリヤ衛戍病院長アウストリヤ、ドイツ病院ニ廿八年間ノ經驗ヲ有ス

齒科

聖市ルアパヂエー二番（二階）

（新メルカード前通り）

荻原